

平成31年度

島根県立大学 総合政策学部
編入学試験

小論文

【試験時間 90分】

注意事項

1. 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題は1ページから3ページです。開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明の箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
3. 解答用紙は2枚あり、問題冊子とは別になっています。また、解答は、横書きで記入してください。
4. 受験番号、氏名を2枚の解答用紙の所定の欄に記入してください。
5. 下書き用の白紙が2枚ありますので利用してください。また、問題冊子の余白を下書きに利用してもかまいません。
6. 試験時間中の退出はできません。
7. 試験終了後、問題冊子及び下書きは持ち帰ってください。

第1問 以下の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

著作権保護のため、現在ホームページで問題文は公開できません。

(出典：片山善博「大都市の数の論理—地方は連帯して対抗を」〈羅針盤〉『山陰中央新報』2016年5月29日より)

※ 筆者の片山善博氏は、元・鳥取県知事。その後、慶應義塾大学教授、総務大臣を経て、現在は早稲田大学教授。

問1. 全体を200字から230字以内で要約しなさい。

問2. 筆者の主張に対するあなたの考えを、650字から700字以内で論述しなさい。

その際、本文中の文言に関する以下の2つの質問に対する答えを必ず含めること。

①「地方が抱える困難な課題」や「数の論理だけであっさり片付けてはならない事情」とは、具体的にはどのようなことですか？

②「地方同士の連帯と共感」を強めるために、どのような方策が考えられますか？

《留意点》 答案の文中において、各質問の答えに該当する箇所に下線を引き、その下線の先頭に、それぞれ①②を記入すること。初出箇所のみでよい。
なお、記入する記号①②の2文字は 要約の文字数に含めない。

第 2 問

The number of university students with smartphones has increased over the years, and it is common for students to bring their smartphones to class. Such phones have the potential to be either powerful tools, or powerful distractions in the classroom. Should students be allowed to use smartphones in university classrooms? Please provide examples and details to support your argument. Your response should be about 100 words in English.